



体験を通じて、環境を学ぶ

11/16 豊科リサイクルセンター環境学習会

リサイクルへの関心を高めてもらおうと環境学習会が11月16日、豊科リサイクルセンターで開かれ、市民20人が参加しました。この日は、日頃から運営に携わる「リサイクルセンター岳の会」が協力し、センターの見学やマイ箸作り、段ボールのおもちゃ作りなどを通じて資源の大切さを学びました。段ボールを使った堆肥作りで、講師の赤沼美奈子さん（穂高有明）は「3年前に堆肥作りを始めてから、捨てるごみの量が減りました。皆さんも取り組んでください」と呼び掛けました。



紅葉の彩りを満喫

11/6 あづみ野再発見!安曇野ウオーキング

あづみ野再発見!安曇野ウオーキング（市教育委員会主催）が11月6日、穂高牧体育館を発着点に、県営烏川溪谷緑地で折り返す約10kmのコースで行われました。この催しは、自然の中を歩き、体力づくりをしながら交流を深め、安曇野の良さを感じてもらおうと年2回開催されています。この日は市民20人が参加。参加者は彩り豊かな紅葉を満喫していました。

近所の仲間と参加した松村こずえさん（穂高）は「自然がとても気持ち良かったです。こうした機会をもっと増やしてほしいです」と話してくれました。

収穫の喜びと恵みに感謝を

11/16・17 第1回信州安曇野新そばと食の感謝祭

香り高い新そばや安曇野ならではの食文化を楽しむ、1年の収穫に感謝をしようと「第1回信州安曇野新そばと食の感謝祭」（実行委員会主催）が11月16日と17日の両日、穂高神社特設会場で開催されました。会場では、地元そば店が出店した「新そばコーナー」をはじめ、安曇野産の食材を盛り込んだ特製の「おひさま御膳」、「安曇野やさいスイーツ」、特産物の販売などが行われ、2日間で約2万7千人の来場者でにぎわいました。家族で訪れた武田悠斗くん（豊科）は「おそばもワサビも大好きです。とてもおいしいです」と、新そばを口いっぱいにはお張っていました。

また、市農業再生協議会（板花守夫会長）による野菜や果物を山積みにした「豊穰宝船」が穂高神社境内を練り歩きました。



全国に羽ばたく 若い力

11/16・17 全国大会出場選手表敬訪問

全国大会へ出場を控えた高校生が宮澤市長を表敬訪問しました。

青年技能者の技能レベルを競う技能五輪全国大会（造園の部）に出場する南安曇農業高等学校の吉澤真珠さんは、大会の課題などを宮澤市長に説明。県代表決定後、日本造園連合会長野県支部の皆さんの指導で練習を続け、大会当日は「自分らしい表現ができれば」と抱負を語りました。

また、第93回全国高校ラグビー大会に出場する、岡谷工業高校ラグビー部の望月亮平さんと野畑幸世さんは、昨年に続き2度目の訪問。宮澤市長は「日ごろの成果を十分発揮し、楽しんでほしい」と今後の活躍に期待を寄せました。

【訪問した皆さん】

11月8日

第51回技能五輪全国大会（造園の部）（11月22日～24日・東京都江東区）第2位

南安曇農業高校 吉澤真珠（堀金烏川）

11月25日

第93回全国ラグビーフットボール大会（12月27日～1月7日・大阪府東大阪市）

岡谷工業高校 望月亮平（穂高） 野畑幸世（三郷明盛）

※訪問日・大会名等・所属・氏名の順（敬称略）



中学生がふるさとCMを制作

12/1 ふるさとCM大賞 NAGANO

第13回ふるさとCM大賞NAGANO（長野朝日放送主催）の最終審査会が12月1日、長野市若里市民文化ホールで行われました。

県内市町村から応募のあった83作品の中から25作品が最終審査会に選ばれました。安曇野市では、三郷中学校3年の「チームわさび」の生徒の皆さんが、総合学習の授業時間に制作したCM「わさビンの旅」が奨励賞を受賞しました。このCMは、ワサビや信州サーモン、リンゴなどの手作り人形を使い、安曇野の特産品を紹介したものです。

最終審査会の模様は1月4日（土）午後3時30分から同局で放送されます



心の育ち、体を動かす喜びを

11/10 コーディネーショントレーニング親子体験会

コーディネーショントレーニング親子体験会（市教育委員会主催）が11月10日、穂高総合体育館で行われました。コーディネーショントレーニングは、年齢を問わず効果があり、運動能力や体力を向上させます。当日は親子がペアになり、タオルを使ったトレーニングなどで楽しみながら体を動かしました。2回目の参加だという池田佳穂さん（三郷小2年）は「障害物を使った鬼ごっこが楽しかったです」と話し、父親の貴宣さんは「普段は娘と運動することは少ないですが、一緒になって体を動かすことができました」と話してくれました。